

柏南ロータリークラブ 会報

2025-2026 片岡達生年度



よいことのために
手を取り合おう



第46代会長 片岡 達生
幹事 井畑 和士 齊藤 洋子

第2041回 2026年3月17日 (火)

会長挨拶

【子どもたちの笑顔、貴重なご縁、そして次年度への期待】

皆様、こんにちは。日ごとに春の気配が濃くなってまいりました。本日は最近の活動報告と今後の予定についてお話いたします。

まず、3月14日にキネマ旬報シアターにて開催いたしました上映会についてです。元会員である山口さんの子どもたちと町の映画館への深い愛情により実現した企画ですが、その温かい思いが無事に地域の子どもたちへ届けられました。ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

関連して、3月27日(金)には「はぐみの杜かしわプロジェクト」の締めくりである【虹色の会】が開催されます。柏西RCの方々も見学され、施設の方々から私たちに感謝を伝える時間も準備してくださっているそうです。本日が参加締め切りとなりますので、ぜひご参加ください。

本日の卓話者である伊月様についてです。伊月様は光ヶ丘地区社協部でご活躍されており、当クラブに多大なご協力をいただいております。伊月様は長く東京証券取引所にお勤めで、関連会社の社長も務められました。政財界の著名人との関わりや歴史的イベントの裏側など、大変貴重なお話を伺えることを楽しみにしております。また、お嬢様はJICAの一員としてアジアやアフリカの貧しい地域での学校建設に携わっておられ、当クラブのかつてのケニアでの活動と深いご縁を感じております。

5月16日(土)には「ブルーベリーヒル勝浦」へ、RI第2790地区のバイクサークル「RMCC」の皆様と合流して日帰り旅行を行う企画が進行中です。漆原パストガバナーが経営され、勝浦RCの例会場でもある素晴らしい環境です。五月の爽やかな季節に皆様と楽しい時間を共有したいと思いますので、ぜひ多くのご参加をお待ちしております。本日の例会後にはクラブ協議会が開催され、井畑会長エレクトより次年度組織の提案が行われます。来る年度に井畑・新保コンビがクラブの空気をどう変えてくれるのか、今から大変楽しみです。引き続きクラブ運営にご協力をお願い申し上げます。



お食事・ニコニコ

3/17 ワンコインニコニコ 2,250円
累計 40,145円



幹事報告

3月ロータリーレート 156円

今後の予定

- 3月17日(火) 通常例会・クラブ協議会
卓話 伊月 茂秋 様 (光ヶ丘地区社協部)
- 3月24日(火) 祝日休会
- 3月27日(金) 奉仕プロジェクト はぐみの杜かしわ④
虹色の会2026
- 3月31日(火) 夜間例会 卓話 黒滝義之会員

卓話 伊月 茂秋様

長年東証にお勤めになり、現在は民生委員として当クラブにご協力いただいている伊月様より、東証の歴史や事件の裏側をお話いただきました。

【東証の歴史と建物の変遷】

1974年（特殊法人時代）に入所。渋沢栄一による設立の歴史や、市場を止めずに日本館と市場館を建て替えたエピソードなどを解説。

【アナログ時代の立会場の熱気】

かつての立会場には2,000～3,000人がひしめき合っていました。色分けされた制服、手サインでの注文伝達、「かまぼこ」と呼ばれた証券会社など、熱気あふれる現場の様子を語っていただきました。1999年に手数料が完全自由化。

【市場を揺るがした事件簿と教訓】

- ・1995年 ベアリング証券破綻：内部統制の欠如による巨額損失。
- ・2008年 リーマン・ショック：日本経済にも大打撃。
- ・2005年 みずほ証券誤発注事件：ヒューマンエラーとシステムバグで407億円の損失。
- ・2024年 東証職員のインサイダー取引：最新の監視システムについて。

→【教訓】企業トップには「適時開示」「情報管理」「内部統制」の盤石なガバナンスが不可欠。

卓話後の質疑応答のなかで、上場時のホリエモン氏、設立間もない頃の村上ファンド、大蔵委員会での片山さつき氏、迫力あるハマコー氏など、政財界の有名人とのエピソードも飛び出しました。「中の人」ならではの生々しく貴重な裏話に、会員一同大いに引き込まれる時間となりました。



光ヶ丘地区社協部・民生委員委員
伊月 茂秋様

奉仕活動報告（はぐくみの杜プロジェクト 3回目）

【キネマ旬報シアター映画上映会 開催報告】

3月14日、柏南ロータリークラブと「はぐくみの杜かしわ」の交流事業第3弾として、地元柏の文化拠点である「キネマ旬報シアター」にて映画上映会を開催いたしました。

本企画は、当クラブの元会員である山口修代さんの温かい思いが起点となっています。「はぐくみの杜の子どもたちに、大好きな映画館で最高の思い出を作してほしい」と願う山口さんから、当クラブへ上映会の開催権利が寄贈されました。私たちはそのバトンを受け取り、劇場と施設の皆様と連携して今回のプロジェクトを実現させました。

当日は幼児から中学生まで11名の子どもたちを招待。行き帰りのバスの車内では遠足気分の大盛り上がりでした。劇場到着後には、新保会員の粋な計らいにより子どもたち全員に好きなドリンクが振る舞われ、弾けるような笑顔と共に和やかなスタートを切りました。

上映前のセレモニーでは、キネマ旬報シアターの松井フロアマネージャーよりご挨拶をいただきました。この上映企画が、コロナ禍における劇場存続のためのクラウドファンディング活動から結実したものであるという感慨深い経緯と、「映画館という特別な空間で映画を観る楽しさ」を子どもたちに語りかけていただきました。続いて、はぐくみの杜の内村施設長からは、過去の楽器やPCの寄贈に続く当クラブへの御礼とともに、子どもたちへ向けて「多くの方々への支えに対する感謝の気持ちを忘れないように」と、心のこもったお言葉をいただきました。

今回上映した『パフィンの小さな島』は、愛らしいキャラクターたちが織りなす心温まる冒険物語です。暗闇の中、大きなスクリーンと音響に包まれる非日常の空間で、一つの物語を全員で共有した体験は、子どもたちの豊かな感性を育む、かけがえのない「文化に触れる体験」になったと確信しています。終演後にはサプライズとして、配給会社様より同作の「いきもの辞典」という特製ブックレットがプレゼントされました。受け取った子どもたちが早速ページをめくり、目を輝かせながら楽しそうに語り合う姿が非常に印象的でした。

本プロジェクトの実現にあたり、ご尽力いただいたキネマ旬報シアターの皆様、そしてご協力いただいた会員各位に深く感謝申し上げます。

